

一次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

昔から伝わる言葉に「失敗は成功の〔A〕」「失敗は成功の〔B〕」という明言があります。失敗しても、それを反省して欠点をあらためていけば、必ずや成功に導くことができるという深遠な意味を含んだ教訓です。

私は大学で機械の設計について指導していますが、設計の世界でも、

「よい設計をするには経験が大切だ」

などということがよくいわれます。私はその言葉を、

「創造的な設計をするためには、多くの失敗が必要だ」

といいかえることができます。考えています。

なぜなら人が新しいものをつくりだすとき、最初は失敗から始まるのは当然のことだからです。

人は失敗から学び、さらに考えを深めてゆきます。

これは、なにも設計者の世界だけの話ではありません。営業企画やイベント企画、デザイン、料理、その他アイデアを必要とするありとあらゆる①創造的な仕事に共通する言葉です。(C)、失敗はとかくマイナスに見られがちですが、じつは②新たな創造の種となるキチヨウな体験なのです。

いまの日本の教育現場を見てみますと、残念なことに「失敗は成功の〔A〕」「失敗は成功の〔B〕」という考え方が、ほとんど取り入れられていないことに気づきます。それどころか、重視されているのは、決められた設問への解を最短で出す方法、「こうすればうまくいく」「失敗しない」ことを学ぶ方法ばかりです。

これは受験勉強にかぎりません。実社会でも通用する知識・教養を教える最高学府であるはずの大学での学習もまた同じです。失敗から学ぶ体験実習のように、自分の力で考え、失敗経験を通じて新たな道を模索する創造力をツチカウ演習が行われる機会は、悲しいかなほとんどありません。これが、③「日本人の欠点」として諸外国から指摘され、(D)、自らも自覚している「創造力の欠如」にそのまま結びついているのではないのでしょうか。

たしかに以前は、ほかの人の成功事例をマネすることが、成功への近道だった時代がありました。④そうした時代には、決められた設問に正確な解を素早く出す学習法が有効だったのは事実です。

(E)、ほかの人の成功事例をマネすることが、必ずしも自分の成功を約束するものではなく、やはりいまの時代です。⑤昨日までの成功は、今日の成功を意味しません。そのような時代に大切なのは、やはり⑥創造力です。そして創造力とは新しいものをつくりだす力を意味している以上、失敗を避けてツチカえるものではありません。

創造力を身につける上でまず第一に必要なのは、決められた課題に解を出すことではなく、自分で課題を設定する能力です。あたえられた課題の答えのみを最短の道のみで出していく、いまの日本人が慣れ親しんでいる学習法では、少なくともいまの時代に求められている真の創造力を身につけることはできません。

注 最高学府 〓 いちばん程度の高い学校。

【「失敗学のすすめ」畑村洋太郎著】

問一 〓 線部ア～オのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 「A」・「B」に当てはまる最もふさわしい漢字一字をそれぞれ答えなさい。

問三 (C)～(E)に入る適切な言葉を次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア しかし イ ところで ウ また エ つまり

問四 —— 線部①「創造的な仕事」とあるが、その具体例を文中より四つ抜き出さない。

問五 —— 線部②「新たな創造の種となる」とは、どのような意味ですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 創造的な仕事をすることで、新たな知識を身につけることができるということ。
- イ 失敗することによって反省点を見出し、それを改めることによって成功すること。
- ウ 失敗をしないように注意することによって、新たな成功を収めることができること。
- エ 新たなものを作り出すためには、高度な学習をしなければならぬこと。

問六 —— 線部③「日本人の欠点」とはどのようなことですか。最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 失敗をマイナスと思うこと。 イ 失敗しないことを学ぶこと。
- ウ 創造力が欠如していること。 エ 反省しないで行動すること。

問七 —— 線部④「そうした時代」とはどのような時代ですか。最もふさわしい説明を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 他人の失敗から学び体験することが、成功へとつながる時代。
- イ 他人の成功の物まねをすることが、成功へとつながる時代。
- ウ 他人のやらないことをすることが、成功へとつながる時代。
- エ 他人のことを思いやるのが、成功へとつながる時代。

問八 —— 線部⑤「昨日までの成功は、今日の成功を意味しません。」の説明として最もふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 「そうした時代」の成功と「そのような時代」の成功とは、内容が違うこと。
- イ 他人の成功のマネをすることと自分の成功とが同じとは限らないということ。
- ウ 今までは成功を収めても今後成功するとは限らないということ。
- エ 今までの成功とこれからの成功とは意味が違うということ。

問九 —— 線部⑥「創造力」とはどういうものですか。文中より十二字で抜き出して答えなさい(句読点は含みません)。

問十 本文の内容としてふさわしくないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 失敗こそ新たな創造の種となる体験と言えるのだが、日本の教育にはそういう考えがない。
- イ 学校では決められた設問に速答することを重視しすぎて創造力を十分にツチカえなかった。
- ウ 現代は、他人の成功経験から新たな成功を見つけ出す創造力を身につけるべきである。
- エ 他人のマネをする時代は終わり、失敗から新たな道を模索して創造力を得る時代である。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

まあくんが四回目のシュートを決めた。ケンにはゴールにぶつかってはね返ってきたサッカーボールを、足で止めた。

「ああ、ハラへった！」

ケンは思わず、声を上げた。給食を食べたきりだった。

「ハラへった、だって。おまえ、ほんとうに日本語うまいなあ」

昭平が①のように、ケンの目をのぞきこんだ。

そのときだ。②腹の中に押しこめていた(むらむら)がにゅつととび出したのは！ あっと思ったときには、ケンは思い切りサッカーボールをぶん投げていた。

バンツ、と音がして、サッカーボールは昭平の顔の真ん中にぶち当たって、はねとんだ。

いけね！ ケンは息をのんだ。よろけた昭平の鼻から、まっかな血が流れていた。

「なにすんだよう！ ケン」

まあくんと信介が同時にわめいて、昭平にかけアヨった。ケンは立ちすくんだ。

「あー、すつげえ鼻血！」

「ケンのばっかっ！」

「やっぱ、ガイジンは野蛮だよなっ！」

口々にあびせられる声をふりきって、ケンはかけだした。③いたたまれなかった。

ふっと気がつく、足は川のほうへ向かっていた。みんなのいる公園から見えないように、遠まわりして川ぞいの道へ出た。川向こうに、白っぽく枯れたすすきの原が広がっていた。その向こうの土手には、さくらの大木が高速道路までつづいている。

こちらの土手にも、赤茶色の葉を残したさくらの木が数本立っていた。その木にもたれて、ケンはすわりこんだ。さつき自分のしでかしたことが、自分でもわからない。

④なんでぶつけちまったんだ？ あんなにうまく、なかまになつてボールをけつていたのに……。自分で自分をなかまの輪から、はじきとばしてしまった！ かつとした頭が風に冷やされてみれば、きっかけはなんでもないことだった。

昭平は⑤正直に感じたことを言っただけなのだ。ふつうなら、ケンは笑いとばすか、ちよつとむくれてみせるかして、切りぬけてみせる。ハラへった、くらい言えるさ。かるーいかるい、って。

でも、ケンだって切れてしまうことがある。ほんと、どれだけくり返して言えば、ぼくを日本人とみとめてくれるんだ？ ひよつとして、一生むりってこと？ この顔でいるかぎり？ そんなの、絶望的だよ。

そうか！ ママはぼくよりもつと絶望してるんだ！ ママは百パーセント、アメリカ人だもの。ママは日本人

のパパを愛して、日本人と結婚したからって、日本人になろうと努力しつづけてた。なるべく英語は使わないで、日本語だけで話してたし、食べものにもナレようとしてきらいな生の魚にも挑戦していた。

だから、ぼくはなんでも食べられるようになった。でも、ママのほうは限界を強く強く感じてしまったんだ。そう、どんなにがんばったって、日本人にはなれないし、なかまに入れてもらえないんだ、って……。だから、アメリカへ帰りたい、って言い出したんだ。

⑥ママの今の思いが、まっすぐケンの心に流れこんできた。でも、いったいどうすればいいんだ？

「ケン、こんなところでなにしてる？」

頭の上で静かな声が出た。でも、ケンは顔が上げられない。なみだのあとを見られなくなかった。自転車の車輪と、地面につけた紺こいに白のスニーカーの片足ウが、目の前に見えた。

「ごめん、じゃましたみたい。じゃまた」

自転車をひとこぎして、遠ざかっていった。見上げると、塩田君の紺色のジャンパーの背中と、つりざおの先が肩こしに見えた。

そのとき、ケンの目の前を影が走った。見上げると、鳥だ！ 土手の下の川の上空を、ばさばさと風音を立てて、白い鳥のむれがうずめたと思うと、いっせいにスエいこまれるように、川の中洲なかすに舞まいり下りていった。空中に開いていた大きな白い花が、いっせいにしぼんで、細長いつぼみにもどったみたいだ。

ママが散歩のときに見た白い鳥は、これだ！ ケンはカクシンオした。体長三十センチはある。ハトよりはずっと大きい。

「ケン、あの鳥の名、知ってる？」

行ってしまったはずの塩田君が、片足を地面につけて自転車を止めて、見とれていた。

「知らない」

ひとこと言葉が出ると、⑦いつものケンにもどっていた。ケンはひよいと立ちあがって、塩田君の自転車のそばまで行った。

「ツルじゃないし、ガチョウじゃないし、なんだろ」

ケンはおどけて、でたらめをならべた。

「ユリカモメ、っていうんだって。ぼくもついさつき、ふたごけやきの下のつり場で、知らないおじさんに教わったんだ。だからつりって、好きだな。コイもつれるけど、⑧ほかのいろんなこともつれるからさ」

「ぼくはそのおすそわけ、ってわけ。ごっつあんです」

ケンのおどけに塩田君は笑った。ケンははじめて気づいたように、鳥のむれを目で追いつづけた。

「ユリカモメ、か。英語でなんていうのかなあ。ママは、知ってるかなあ」

ケンはママに聞いてもあの鳥の名を知らないかと思った。塩田君はすぐにはずんだ声で言った。

「ぼく、調べてみるよ。おやじにおつきな辞書をもらったんだ。英和辞典と和英辞典とね。わからない言葉を引くのって、おもしろいよ。じゃ」

塩田君は軽く手を上げて、自転車をこぎ出した。

(遠藤みえ子著『やなぎ通りのスージーさん』より)

問一 ―― 線部ア～オのカタカナは漢字に直し、漢字はその読みを答えなさい。

問二 ①にはどのような言葉が当てはまりますか。次の中からふさわしいものを選んで記号で答えなさい。

- ア わらった
- イ あきれた
- ウ おどけた
- エ おこった

問三 — 線部②「腹の中に押しこめていた〈むらむら〉」とは何ですか。次の中から、ふさわしいものを選んで記号で答えなさい。

- ア のぞきこむように顔を見られることが、いやだったこと。
- イ サッカーでシュートが決められなかったことが、いやだったこと。
- ウ いつも悪口を言われ続けられることが、いやだったこと。
- エ 日本人ではなく外人として見られることが、いやだったこと。

問四 — 線部③「いたたまれなかった」の意味として適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア その場にじっとしてられないこと。
- イ 心が傷ついてどうしようもないこと。
- ウ ひたすら、がまんし続けること。
- エ 人から何か言われて立ちすくむこと。

問五 — 線部④「なんでぶつちまったんだ？」とありますが、その理由がはっきりと示されている小段落を本文中から探し、その書き出しの五字を抜き出して答えなさい。ただし、記号や句読点も字数に入れません。

問六 — 線部⑤「正直に感じたこと」とは何ですか。本文中から十七字で抜き出して答えなさい。ただし、句読点も字数に入れません。

問七 — 線部⑥「ママの今の思い」が、はっきりと示されている部分を、十字以内で抜き出しなさい。

問八 — 線部⑦「いつものケンにもどっていた」とありますが、「いつものケン」はどのような人物ですか。次の中からふさわしいものを選んで記号で答えなさい。

- ア 明るくてユーモアのある人物。
- イ がまん強くて努力する人物。
- ウ 何事にも興味を示してゆく人物。
- エ 心やさしくて友達思いの人物。

問九 — 線部⑧「ほかのいろんなこともつれる」とはどのような意味ですか。次の中からふさわしいものを選んで記号で答えなさい。

- ア つりのいろいろな方法を用いることで、つりがさらに楽しめること。
- イ 魚だけでなく、自然の中のたくさんの生き物に出会えること。
- ウ コイ以外にも、様々な種類の魚がつかれる楽しみがあること。
- エ つり場で出会った人から、いろいろなことを教わったりすること。

問十 「ケン」の「ママ」はアメリカ人ですが、日本人になろうとどのように努力し続けましたか。文中の言葉を用いて、三十字以内で答えなさい。